



報道機関 各位

記者発表資料

令和4年3月31日（木）

問い合わせ先：文化振興課

課長：吉田

担当：小暮・吉田・荒川・井上

電話：829-1225

内線：2815

さいたま国際芸術祭2023のディレクターが決定しました
～ディレクターへの委嘱状交付式を行います～

本市では、「さいたま市文化芸術都市創造計画」の重点プロジェクトの一つであり、文化芸術都市創造の象徴的・中核的な事業である国際芸術祭を令和5年に開催することを目指しています。

このたび、さいたま国際芸術祭2023のアートプロジェクト等を統括するディレクターが決定しましたので、お知らせいたします。

また、ディレクターの就任にあたり、委嘱状交付式を行います。

1 ディレクター

現代アートチーム目 [mé]（げんだいあーとちーむ め）

2 略歴

別紙のとおり

3 委嘱状交付式

(1) 日時 令和4年4月22日（金） 午前10時30分

(2) 場所 さいたま市役所4階 市長室

※委嘱状交付式の後、ディレクターへの質疑応答の時間を設けます。

ディレクター 略歴

現代アートチーム目 [mé]

アーティストの荒神明香、ディレクターの南川憲二、インストーラーの増井宏文の3人を中心とする現代アートチーム。手法やジャンルにはこだわらず、展示空間や観客を含めた状況、導線を重視。創作方法は、中心メンバーの個々の特徴を生かしたチーム・クリエイションに取り組み、発想、判断、実現における連携の精度や、精神的な創作意識の共有を高める関係を模索しながら活動している。



【photo】 TAKESHI ABE

《中心メンバー》

・荒神 明香（こうじん はるか）

アーティスト。1983年広島生まれ。2009年東京藝術大学大学院美術研究科修了。サンパウロ近代美術館（ブラジル）、ジャパン・ソサエティー（ニューヨーク）、ポンピドゥーセンターメッス（フランス）など国内外で作品を発表。Art Award Tokyo 2007 グランプリ受賞、東京藝術大学卒業制作展 買い上げ賞、作品《reflectwo》東京都現代美術館、サンパウロ現代美術館所蔵。

・南川 憲二（みなみがわ けんじ）

ディレクター。1979年大阪生まれ。2009年東京藝術大学大学院美術研究科修了。wah document（わうどきゅめんと）（2006～）として、カウス・アウストラリス（オランダ）、オーセージギャラリー（香港）、ポンピドゥーセンターメッス（フランス）など国内外で活動を展開。東京藝術大学終了制作展 川俣正賞、Art Award Tokyo 丸の内 2009 グランプリ受賞。

・増井 宏文（ますい ひろふみ）

インストーラー。1980年滋賀生まれ。2008年佛教大学教育学部卒業。2004年成安造形大学造形学部卒業。wah document（わうどきゅめんと）（2006～）として、カウス・アウストラリス（オランダ）、オーセージギャラリー（香港）、ポンピドゥーセンターメッス（フランス）など国内外で活動を展開。

主な作品

- 2021 《まさゆめ》Tokyo Tokyo FESTIVAL スペシャル13（東京各所）
- 2019 《非常にはっきりとわからない》千葉市美術館（千葉）
- 2017 《repetition window》Reborn-Art Festival 2017（宮城）
- 2016 《Elemental Detection》さいたまトリエンナーレ2016（埼玉）
- 2014 《たよりない現実、この世界の在りか》資生堂ギャラリー（東京）